

令和 5 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

（１）事業者の類別

類別	（類別の説明）
I類	A事業所のみを有する特定事業者
II類	B事業所を有する特定事業者（III類の事業者を除く）
III類	C事業所を有する特定事業者
IV類	任意事業者

（２）地球温暖化対策事業者

事業者名			ふじみ野市		
所在地			ふじみ野市福岡1-1-1		
事業者番号			2022		
燃料等使用量の 原油換算の合計量 （前年度）			1,540		KL／年
大規模小売店舗面積 （単独で1,500KL未満で延床 面積10,000㎡以上の事業所）					㎡
産業分類名 （中分類）			98 地方公務		
分類番号 （中分類）			98		
事業活動の 概要	事業内容		地方自治法に基づき住民福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する。		
	区分		その他		
	前 年度	資本金			百万円
		従業員数	659		人
商標又は商号 （連鎖化事業者のみ）					

（３）県内に設置している事業所

（自動転記）

事業所 種別	事業所 番号	事業所名	前年度の原油換算 エネルギー使用量 (kL)
A、Bテナント等事業所			
A	202200	ふじみ野市役所 本庁舎	1,540
B、C事業所			
合 計			1,540

（４）公表方法

○	インターネット利用による公表	アドレス	nkyoka/kankyokakari/keikakujoureihoukoku/ondanka/1776.html
	事業所での備え置き (複数可。書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	
		所在地 1	
		閲覧可能 時間 1	
		閲覧場所 2	
		所在地 2	
		閲覧可能 時間 2	
	その他		

（５）公表の担当部署

名 称 (複数可)		連絡先	
		電話番号	E-mailアドレス※
1	環境課	049-262-9021	kankyo@city.fujimino.saitama.jp
2			
3			

※ 事業者のアドレスとする（個人が特定できるアドレスは記入しないこと）

（６）（Ⅳ類（任意事業者）のみ記入）県による公表の可否

県による報告書の公表を希望	する
---------------	----

2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

「第2期ふじみ野市環境基本計画・前期行動計画」（第6章 地球温暖化対策～ふじみ野市地球温暖化対策実行計画～）に掲げる目標の達成に向けて、電気や燃料などの使い方を見直し省資源化を進めるとともに、紙類などの分別、リサイクルを推進し、廃棄物の排出抑制と資源化を進めながら、事務事業の効率化を図ります。

日々の業務を点検し効率的な行政運営を進めることで、温室効果ガス及び環境負荷の軽減を目指していきます。また、市民や地域の事業者の模範となるように、職員一人ひとりが積極的に温暖化防止に取り組みます。

なお、指定管理者等に対しても本計画の内容を周知し、対象組織に準じて取組を行うよう、協力を求めます。

3 地球温暖化対策における事業者の推進体制

エネルギー管理統括者（省エネ法）の副市長を筆頭に、「ふじみ野市地球温暖化対策実行計画（第2期ふじみ野市環境基本計画 前期行動計画 第6章）」を推進します。

各課・施設等の管理者（所属長）が、各課単位で地球温暖化対策の取り組みを推進し、目標の達成を目指します。各職場では前年に比べてエネルギー使用量が増加した場合、その理由と改善策を提出し実行します。

4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量（事業所合算）の推移

CO₂換算（t-CO₂）

	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂	928	991	1,362		
その他のガス	24,769	23,788	24,311		
温室効果ガスの計	25,697	24,779	25,673		

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

令和

5

年度

事業者番号2022事業所番号202200

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A … 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

(2) 事業所及び事業内容

代 表 事 業 所 名	ふじみ野市役所 本庁舎	前年度にお ける事業所数	52
代 表 事 業 所 所 在 地	市 区 町 村	ふじみ野市	
	字 ・ 地 番	福岡1-1-1	
当該事業所を含む事業所の名称 （※Bテナント等の場合のみ記入）			
産 業 分 類 名 （ 中 分 類 ）		98 地方公務	
分 類 番 号 （ 中 分 類 ）		98	
事 業 活 動 の 概 要		地方自治法に基づき住民福祉の増進を図ることを基本として、地 域における行政を自主的かつ総合的に実施する。 職員数 659人（令和4年4月1日現在 再任用含む）	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計 画 期 間		2	年 度	～	6	年 度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる排出量	807	t-CO ₂	基準となる原単位	1.0746 t-CO ₂ /人
		【第3計画期間】 令和元年度二酸化炭素排出量807t-CO ₂ に対し、令和6年度末までに10%（81t-CO ₂ ）削減します。 目標二酸化炭素排出量726 t -CO ₂				
		【第3計画期間】 令和元年度二酸化炭素排出量22,035t-CO ₂ に対し、令和6年度末までに5%（1,102 t -CO ₂ ）削減します。 目標二酸化炭素排出量20,933t-CO ₂				

(2) 第4計画期間の削減目標

計 画 期 間		7	年 度	～	11	年 度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる排出量		t-CO ₂	基準となる原単位	

事業所リスト

番号	事業所名	所 在 地
1	ふじみ野市役所 本庁舎	ふじみ野市福岡1-1-1
2	別紙参照	
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和 2 年度 (2020年度)	令和 3 年度 (2021年度)	令和 4 年度 (2022年度)	令和 5 年度 (2023年度)	令和 6 年度 (2024年度)
	1,293	1,340	1,540		

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

		計 画 期 間				
		令和 2 年度 (2020年度)	令和 3 年度 (2021年度)	令和 4 年度 (2022年度)	令和 5 年度 (2023年度)	令和 6 年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂	基 準	807	928	991	1,362	
	前 年 度 比 （ % ）	—	6.8	37.4		
	基 準 となる 排出量 に対する 削 減 率 （ % ）	-15.0	-22.8	-68.8		
そ の 他 ガ ス	非 エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂	24,769	23,788	24,311		
	メ タ ン					
	一 酸 化 二 室 素					
	ハ イ ド ロ フ ル オ ロ カ ー ボ ン					
	パ ー フ ル オ ロ カ ー ボ ン					
	六 ふ っ 化 い お う					
	三 ふ っ 化 室 素					
温 室 効 果 ガ ス の 合 計		25,697	24,779	25,673		

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）

CO₂換算（t-CO₂/指標）

		計 画 期 間				
		令和 2 年度 (2020年度)	令和 3 年度 (2021年度)	令和 4 年度 (2022年度)	令和 5 年度 (2023年度)	令和 6 年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂ 排出量 原 単 位	基 準	1.0746	1.1943	1.2544	2.0668	
	前 年 度 比 （ % ）	—	5.0	64.8		
	基 準 となる 原単位 に対する 削減率 （ % ）	-11.1	-16.7	-92.3		
活 動 規 模 の 指 標 単 位		777.00	790.00	659.00		
職 員 数		人				

(4) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	落雷に伴い緊急に焼却炉が停止したため非常用発電機を稼働したことや、エアコン故障によるストーブの臨時的な使用により、灯油の使用量が増えた。 新型コロナウイルス感染防止対策による市管理施設の休館により、液化石油ガス(LPG)の使用量が減った。
令和3年度 (2021年度)	新型コロナウイルス感染症の規制が緩和され、会館日数や時間等が増加したことにより、都市ガスや電気の使用量が増えた。 落雷に伴う緊急の焼却炉の停止回数が減少したこと及びウォームビズを実施したことにより灯油の使用量が減った。 新型コロナウイルス感染防止対策による市管理施設の休館により、液化石油ガス(LPG)の使用量が減った。
令和4年度 (2022年度)	新型コロナウイルスの規制緩和により市民活動が再開し、施設の利用が増加したことにより都市ガスや電気利用量が増えた。 空調故障により灯油ストーブを使用したため灯油の使用量が増えた。
令和5年度 (2023年度)	
令和6年度 (2024年度)	

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区分 番号	区 分 名 称					
		大 区 分	中 区 分				
1	110400	一般管理事項	11.エネルギー使用量の管理	ふじみ野市地球温暖化対策実行計画に基づくエネルギー使用量調査。(第3計画期間継続)	R1以前	R1以前	
2	130100	空気調和設備・換気設備	13.空気調和の運転管理	着衣で温度調節をする(クールビズ・ウォームビズを実践する)。(第3計画期間継続)	R1以前	R1以前	
3	140100	給湯設備、給排水設備、冷凍冷蔵設備、厨房設備	14.給湯設備の管理	ガス湯沸かし器を効率的に使用する。(第3計画期間継続)	R1以前	R1以前	
4	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15.照明設備の運用管理	事務の効率化を図り、ノー残業デー(水曜日)を徹底するとともに、業務終了後は速やかに消灯する。(第3計画期間継続)	R1以前	R1以前	
5	150300	受変電設備、照明設備、電気設備	15.事務用機器等の管理	就業時間外及び離席中は、個人用のパソコンの電源はOFFにする。(第3計画期間継続)	R1以前	R1以前	
6	150300	受変電設備、照明設備、電気設備	15.事務用機器等の管理	各課でのコーヒーマーカー、電気ポットの利用は、最小限にとどめる。(第3計画期間継続)	R1以前	R1以前	
7	160200	昇降機、建物	16.建物の省エネルギー	公共施設へ緑のカーテンの設置を進める。(第3計画期間継続)	R1以前	R1以前	
8	170300	負荷平準化	17.新エネルギー	建築、設計段階で太陽光発電など再生可能エネルギーの使用を検討する。(第3計画期間継続)	R1以前	R1以前	
9	160100	昇降機、建物	16.昇降機の運転管理	職員はエレベーターの使用を控え原則禁止とする。(第3計画期間継続)	R1以前	R1以前	
10	320400	熱交換器等	32.廃熱の回収利用に関する措置	ふじみ野市・三芳町環境センターにおいて一般廃棄物を焼却した熱を利用して自家発電をしている。	R1以前	R1以前	
11							
12							
13							
14							
15							

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

A事業所

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

環境年次報告書の作成（市HPにて公表）